

日本海溝・千島海溝沿いの 巨大地震・大津波に備えて

津波災害から命を守るために、
早期避難と身近な津波一時避難場所の確保が大切です。


大津波災害時の津波一時避難場所等の確認のためにも
大津波を想定した市Webハザードマップを活用しよう！
～スマホでの簡単アクセス方法～

☆ 土地勘のない外出先等でも、スマホの待ち受け画面に設定したアイコンから簡単に、市Webハザードマップ(大津波)が開け、最寄りの津波一時避難場所の位置をはじめ様々な情報をスマホで確認でき、早期避難に役立ちます。防災対策の一つの手立てとして活用してみませんか！

【市Webハザードマップ(大津波)の画面】



【土地勘のない外出先等におけるスマホ活用法】

- ① ホーム画面に張り付けた(ブックマークに登録した)市Webハザードマップのマークをタッチし、「確認事項」の「同意する」をタッチして、「大津波想定の大津波避難所情報等」が地図上に表示される画面を開く。
- ② 自分がいる場所を示し、タッチすると、大津波想定の大津波の基準水位(浸水深+せき上げ高)と津波到達時間が表示されます。
- ③ 最寄りの津波一時避難場所のマーク等にタッチすると、避難先の名称、所在地、自分がいる場所からの距離などが表示されます。
- ④ 避難する際は、この名称右上の、をタッチし、表示を消してから地図上の道路で避難先への道すじが確認でき、早期避難に役立ちます。

※津波は自然現象ですから、想定には不確実性を伴い、ハザードマップの想定を超える大津波の事態もあります。(東日本大震災のように)常に「もしかしたら危険では」と考える習慣をつけてください。

自らできる限り迅速かつ、できる限り高く安全な場所を目指して避難しましょう。

津波一時
避難場所

【津波避難ビル・津波緊急避難施設】



津波でも安全な建物で、屋内や屋上に待機場所があります。

【緊急避難場所】



津波の浸水しない場所にある高台や建物です。

(市Webハザードマップ 津波に関するマップ 凡例の説明を参照掲載)

大津波 市Webハザードマップをスマホに登録してみよう！



↑
二次元コード

この方法は、いざという時、**簡単**に活用できるよう**各種**スマホの待ち受け画面や、ブックマークに登録しておく方法です。

まず、スマホのカメラで二次元コードを読み取り、市Webハザードマップの利用の際の「**確認事項**」の画面を開いてみましょう。

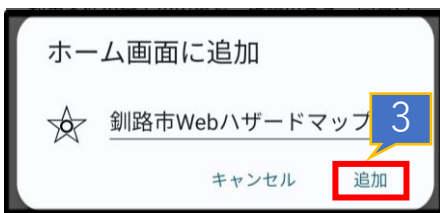
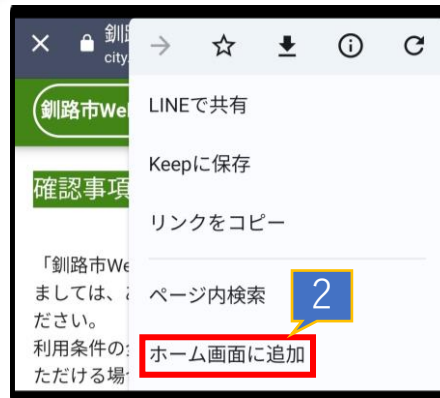
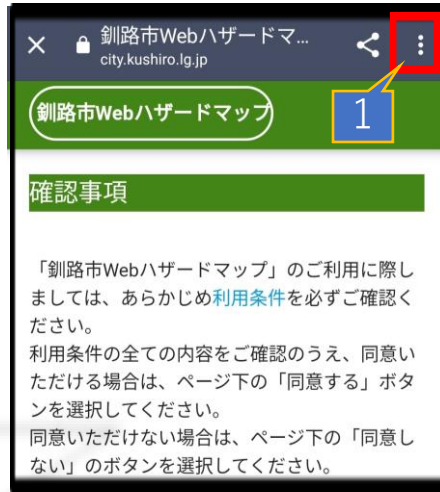
【大津波ハザードマップ】 https://www.city.kushiro.lg.jp/area/bousai/map/agree.html?lay=saigai_02

(各種スマホごとの登録操作方法)

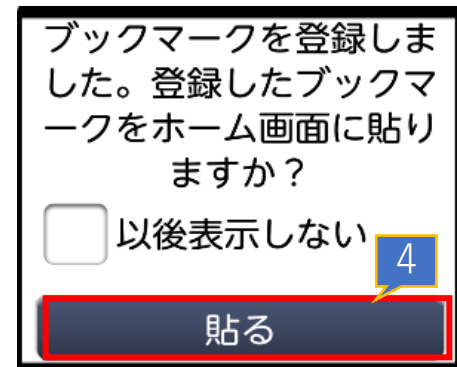
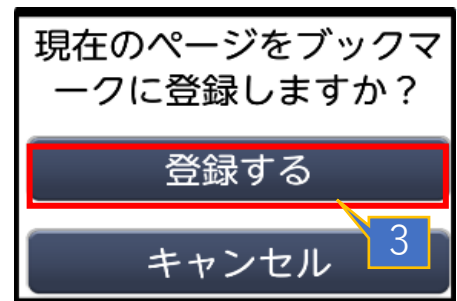
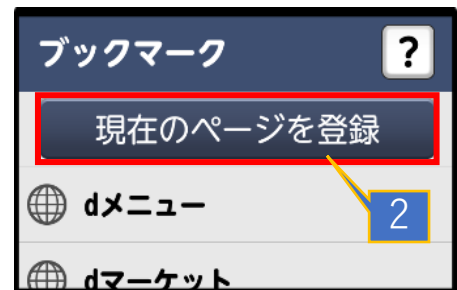
iPhoneの場合



Androidの場合



らくらくフォンの場合



★以上の方法で、「確認事項」の画面のアイコンを各種スマホの待ち受け画面に張り付け、ブックマークに登録されます。実際に登録したマークにタッチし、確認事項の「同意する」にタッチし、市Webハザードマップを開いて1ページのとおり動作を確認してみましょう。

確認事項

「釧路市Webハザードマップ」のご利用に際しましては、あらかじめ**利用条件**を必ずご確認ください。

利用条件の全ての内容をご確認のうえ、同意いただける場合は、ページ下の「同意する」ボタンを選択してください。

同意いただけない場合は、ページ下の「同意しない」のボタン

タッチ

同意する 同意しない

★利用の際は、必ず**確認事項**の利用条件を確認し、**同意したう**えで使用しましょう。



災害用伝言ダイヤル

171

伝言録音は ↓ 171 伝言再生は ↓ 171

↓ 1 ↓ 2

市外局番からの電話番号 市外局番からの電話番号



注意事項

- ・機種により登録方法が異なる場合があります。また、使用前に市Webハザードマップの利用条件を確認し、活用してください。
- ・プライバシー設定で位置情報の利用をOFFにしている場合は、マップ画面で今いる場所を表示できません。
- ・災害時に通信回線が途絶した場合は、市Webハザードマップへのアクセスができなくなるため、近隣の避難所、高い所へ早急に避難してください。